

【足立区在宅療養推進協議会】概要

会 議 名	令和7年度 第1回 足立区在宅療養推進協議会
事 務 局	福祉部 医療介護連携課
開催年月日	令和7年5月19日（月）
開催時間	午後7時～午後9時
開催場所	すこやかプラザ あだち 大研修室
出席者	別紙（委員名簿）のとおり
欠席者	なし
会議次第	別紙のとおり
資 料	別紙のとおり
そ の 他	<ul style="list-style-type: none">・ 次第・ 委員名簿・ 足立区在宅療養推進協議会議資料

(審議経過)

○徳井医療介護連携課長 定刻となりましたので、ただ今より令和7年度第1回足立区在宅療養推進協議会を開会いたします。お集まりいただきましてありがとうございます。

今回は設置後初めての協議会となりますので、会長が決まるまで医療介護連携課徳井が進行させていただきます。よろしくお願いたします。本来であればお一人ずつ委嘱状を交付させていただきところでございますが、時間の都合上大変恐縮でございますが、机上での配布とさせていただきます。なお記録の関係上、録音及び資料用のお写真を撮影させていただきたいと思っております。この在宅療養推進協議会の様子をホームページで発信するのも在宅療養推進の一助となりますので、ご了承のほどよろしくお願いたします。なお発言の際はマイクを事務局が持って回っておりますので、マイクを使って発言いただきますようお願いいたします。

初めに資料の確認をさせていただきます。本日の配布資料はまず1枚ですね、足立区在宅療養推進協議会設置要綱A4 1枚のものでございます。それから令和7年度第1回足立区在宅療養推進協議会次第及び資料ですね、ダブルクリップで留めたものになります。不足などございませんでしょうか。会議の途中で何か資料に不備などございましたら、事務局にお声がけいただきますようお願いいたします。それでは早速次第に移らせていただきます。足立区福祉部伊東部長より開会のご挨拶をいただきます。

○伊東福祉部長 皆さんこんばんは。紹介いただきました福祉部長の伊東でございます。よろしくお願いいたします。

本日第1回目の足立区在宅療養推進協議会にご出席いただきましてありがとうございます。わたくし4月から福祉部長を拝命してお

りますので、昨年度の協議を見ていた訳ではありませんが、昨年度から様々な活発な議論があったうえで、本日に至ると聞いております。区の会議体という位置付けにはなりますが、在宅療養を進めていく中で、今お集りの皆さん、多職種が忌憚のない意見を交わしながらより良いものを作っていくということが非常に大事かと思っておりますので、区の報告などもありますけれども、ぜひ活発な議論をしていただければと思っておりますし、すこやかプラザあだちができてから、実は私が夜の会議体に入るのが初めてで、この会場をこのように使わせていただくのも初めてです。すこやかプラザあだちについても皆様に今後もご活用していただきたいと思っております、引き続きよろしくお願いいたします。私からは以上です。

○徳井医療介護連携課長 続きまして次第の2番、委員紹介です。初めての協議会となりますので名簿順に委員の皆様一言ずつ自己紹介をいただきたく存じます。恐れ入りますが、足立区医師会有野会長からお願いいたします。

○有野委員 皆さんこんばんは、足立区医師会の有野でございます。この前身の準備委員会から医師会は絡んでいたのですが、その会には出ていなかったのが今回初めてですけれども協議会ということで、文字通り多職種の方々と色々なことを話せる機会を楽しみにしています。本日はよろしくお願いいたします。

○山下委員 医師会の山下です。今年度もよろしくお願いいたします。

○橋爪委員 医師会の橋爪です。今年度も引き続きよろしくお願いいたします。

○井上委員 医師会の井上泰介です。よろしくお願いいたします。

○佐藤委員 足立区歯科医師会 ヒロ歯科クリニックの佐藤浩史です、よろしくお願いいたします。

ます。

○花田委員 同じく歯科医師会の花田でございます。よろしくお願いいたします。

○浅見委員 足立区薬剤師会の浅見と申します。よろしくお願いいたします。

○和田委員 柔道整復師会の和田と申します。よろしくお願いいたします。

○大館委員 あだち POS ネットワークから参りました、大館哲詩と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

○小浦委員 東京都栄養士会小浦でございます。今年度から担当横山から引き継ぎさせていただきました、不慣れなところもございしますが、よろしくお願いいたします。

○永田委員 足立区多機能サービス連絡会の代表を務めさせていただいています、ケアサービスとも代表取締役の永田と申します。多機能サービス連絡会の中の施設で行きますと小規模多機能型居宅介護というちょっとややこしい名前の施設になりますが、それを普段広げる仕事をしています。よろしくお願いいたします。

○結城委員 足立区社会福祉協議会地域福祉部長の結城です。基幹包括支援センターのセンター長も兼ねております。どうぞよろしくお願いいたします。

○鶴沢委員 足立区介護サービス事業者連絡協議会の会長を務めています、ハートぽっぽの鶴沢と申します。よろしくお願いいたします。

○白井委員 同じく足立区介護サービス事業者連絡協議会で居宅介護支援部会部会長を務めさせていただいております、新田楽生苑の白井と申します。よろしくお願いいたします。

○内山委員 同じく足立区介護サービス事業者連絡協議会居宅介護支援部会副部会長をしております内山と申します。今年度もどうぞよろしくお願いいたします。

○塩谷委員 同じく足立区介護サービス事業者連絡協議会の塩谷です。わかばケアセンターです、よろしくお願いいたします。

○半貫高齢者政策推進室長 高齢者政策推進室長の半貫です。よろしくお願いいたします。

○小峯介護保険課長 介護保険課長の小峯と申します。4月から着任いたしました。よろしくお願いいたします。

○馬場衛生部長 衛生部長の馬場でございます。どうぞよろしくお願いいたします。

○網野衛生管理課長 同じく衛生部衛生管理課長の網野と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

○徳井医療介護連携課長 はい、ありがとうございます。その他、医療介護連携課の事務局職員、医療と介護の連携・研修センターの事務局職員も従事させていただきますので、よろしくお願いいたします。

では次に次第3の会長、副会長の選出に移りたいと思います。お手元にお配りした要綱をご覧ください。足立区在宅療養推進協議会設置要綱第5条により会長は委員の互選によって定めると規定しています。どなたかご推薦いただけますでしょうか。

○和田委員 有野委員はいかがでしょうか。

○徳井医療介護連携課長 ただいま有野委員のご推薦がございましたが、いかがでしょうか。

○一同 [拍手]

○徳井医療介護連携課長 ありがとうございます。異議なしと認め有野委員に会長をお願いしたく存じます。会長ご挨拶をお願いいたします。

○有野会長 着座で失礼いたします。ただいま会長に選任されました、医師会の有野でございます。この会は先ほど申し上げましたように、多職種の皆さんの意見を聞く会でありますので忌憚なくご意見をいただければと思

います。よろしく願いいたします。

○徳井医療介護連携課長 ありがとうございます。会長が決定いたしましたので、この後の進行は有野会長にお願いをしたく存じます。

○有野会長 それでは最初の私の仕事になりますが、副会長の選出に移りたいと思います。

足立区在宅療養推進協議会設置要綱の第5条によりまして、副会長は委員の中から会長が指名するものに充てるということになっております。私から、花田委員、鶴沢委員を副会長に指名させていただきたいと思います。皆さんよろしいでしょうか

○一同 [拍手]

○有野会長 ありがとうございます。それでは花田副会長ご挨拶お願いいたします。

○花田副会長 ただいま副会長としてご指名いただきました花田でございます。皆さんのお仕事とこの会のお手伝いとともに、有野先生を少しでも補佐できればと思っております。よろしく願いいたします。

○有野会長 続いて、鶴沢副会長ご挨拶をお願いいたします。

○鶴沢副会長 はい、改めまして鶴沢でございます。どうぞよろしく願いいたします。

足立区は特に高齢者数が多いところですが、これからは本当に在宅介護というのがどれだけ重要かということはここにいる皆さん、私も含めて身に染みていると思います。この連携を進めることが自分たちの仕事の質を高めたりだけではなく、多分自分たちが楽になるんじゃないかなとか、あるいはそのことが結果、支援者や利用者さん、介護者や家族に寄与することになると思いますので、精一杯力を尽くしていきたいと思っております。よろしく願いいたします。

○有野会長 はい、ありがとうございます。では早速議題のほうに進めていきたいと思

います。お手元の次第に沿って、案件1足立区在宅療養推進事業について事務局からお願いいたします。

案件(1) 足立区在宅療養推進事業について

○河井医療介護連携推進係長 医療介護連携課の河井でございます。今回第1回ということで私の方から案件(1)在宅推進事業全般についてご説明をさせていただきます。

(資料2①②③④説明)

○有野会長 ありがとうございます。ただいまの説明に関して何かご質問、追加のご意見等ありますでしょうか。

○徳井医療介護連携課長 私から一つよろしいでしょうか

○有野会長 はい、どうぞ。

○徳井医療介護連携課長 医療介護連携課長でございます。少し今在宅療養の基本的なお話をさせていただいたところで皆様にお伺いをしたいところがありまして、さきほど伊東部長の話からもありましたが、昨年活発に議論されてこの推進協議会が出来上がったという話を聞いております。この在宅療養推進協議会の進め方について、昨年度いい雰囲気できていたという話、複数の方から頂いておりまして、昨年と同じように一同に集まっていたいただき、テーマは事務局からも議論していただきたいものを、ご提示申し上げますが、皆様で協議をしていくという進め方で大丈夫でしょうか。

○一同 [異議なし]

○徳井医療介護連携課長 ありがとうございます。それぞれですね、在宅療養も広いので、テーマについてはこちらの方でも絞らせていただきたいと考えておりますので、どうぞよろしく願いいたします。以上でございます。

○有野会長 ありがとうございます。他にございませんか。

○山下委員 医師会の山下です。資料2③の5番の講演会とか6番の多職種連携やスキルアップ研修、昨年まで主にこの辺りをやっていたと思うのですが、前回までは手引きに載っていないことをやっていたということで、昨年度までは何に基づいてやっていたのかなと疑問に思ったのですが、いかかでしょうか。

○河井医療介護連携推進係長 細かく細分化するとこのようになるのですが、資料2③の中の令和2年9月のVer 3の3番の中にも医療・介護関係者の資質向上・相互理解と在宅医療・介護連携の理解の深化、人材育成などの研修、こういったところに基づいてやっております。MCSについては4の円滑な情報共有というところが令和7年の3月にもう少し細分化されましてこのようになっております。

○山下委員 Ver 3、Ver 4の番号はこれは対応しているわけではないということですね

○河井医療介護連携推進係長 はい。

○山下委員 わかりました、ありがとうございます。

○有野会長 はい。他にご意見なければ、本題の次第に移りたいと思います。

次の案件ですね、在宅療養実態調査の結果について事務局のほうからご説明をお願いいたします。

案件(2) 在宅療養実態調査の結果について

○馬場在宅療養支援コーディネーター それでは、案件の(2)①から③についてご説明いたします。

(資料3①②③説明)

続きまして、MCSについて渡邊よりご説明いたします。

○渡邊在宅療養支援統括コーディネーター 続きまして案件(2)④MCSについてお話しさせていただきます。

先程アンケートの報告がございましたが

「MCSを利用していない方が664人、その中でMCSを知らない468人」という結果で、そこを問題視しております。ご意見をいただく前に現状を資料3の④でご説明いたします。

(資料3④説明)

アンケートの結果にございましたように、まだMCSを知らないという方も多くいらっしゃいますので、未登録の方と登録はしているが使っていない方などを対象に2回の研修を企画しようと考えております。まず第1回目として6月12日にすこやかプラザでの開催を予定しております。チラシもございますので、みなさまからも連携している方でMCSを知らない、使っていない方がいらっしゃいましたら是非ご案内いただければと思います。私からは以上となります。

○有野会長 はい、ありがとうございます。ただいまのご説明についてそれぞれご意見いただきたいと思います。まずは大きく3つですね。まず多職種連携研修会に参加したことがない、知らないっていう方も多いということで、このへんに対する対策について何か、ご意見ありますでしょうか。例えば我々医師会はですね、いわゆる定期便があってその中に、全員医師会員が見ているわけではないと思うのですが、研修会が定期的に行われていることは周知しているので、管理者や院長の先生方は多分知っていると思うんですけども、他の業種に関してはどういう対策を取っているのか現状を知りたいのですが、いかがでしょうか。

○鶴沢副会長 あの私は、開催の時には必ずメールで送っています。同じものを2回、3回送ることもあるのですが、研修に限らず、おそらくどの団体でもそうかもしれませんけど、出るところは出る、出ないところは徹底して出ないなというところが共通した悩みなの

かなという風に思っていますので、周知の方法なのか、その効果といいますか、その事業所の考え方なのか、色々でしょうけれども、何か具体的な対策と言われるといつもここでどうしたら良いかと、逆に皆様からもご意見いただきたいところです。

かつて参加したら区長の名前で参加証か何かを出していただいた当初の頃もあったなと思いますけど、じゃあ果たしてあれが効果的かどうか分からない。あるいは思い切って研修出てますみたいなところを現場として公表して、熱心にそういう研修を受けている事業者だってことを分かってもらうような、区のホームページがあるわけですから、そういったところで公表してみるなど、出てないからいけのではなく、出たところに対しては、調べたらちゃんとやっているんだこの事業所は、のようところがあれば、もしかしたら何もしないよりはましじゃないかなとは思いますが。

○山下委員 医師会の山下です。ちょっとお尋ねしたいのが、このアンケートっていうのは区内医療機関、介護機関全体ですよ。ここにいる我々もそうですけれども組織図はもちろん100%ではない、そうすると我々それぞれの会に所属していない施設に関してはどのようなアプローチをしているのか教えていただきたいのですが。

○馬場在宅療養支援コーディネーター アンケートについてですか。

○山下委員 いえ、この多職種連携研修会です。

○馬場在宅療養支援コーディネーター 多職種連携研修会は、今ご参加いただいている方々が所属されている9つの団体を通してご案内をしているというところで、団体に所属していない方へのご案内はできていないところが現状です。

○山下委員 そうすると当然ながらパーセン

テージは下がりますよね。これはあの全医療機関、全介護機関を対象としている事業だと思っただけですよね。そしたらそういった色々な会に属していないところでどうアプローチするかというのも一つ検討課題になるのではないかなと思うのですが、いかがでしょうか。

○馬場在宅療養支援コーディネーター ご意見ありがとうございます。

○有野会長 他にありませんか。

○佐藤委員 歯科医師会の佐藤です、アンケートですが、今山下先生も触れられていたが、対象医療機関と介護機関ってあって、医療機関っていうのは、みんなが介護に関連しているところではないと思うのですが、それと介護と一緒にしてしまうと、パーセンテージで知らない人が多いというのは当たり前なところもあるので、そこをもうちょっと、もしこのアンケートを活かすのであれば、そういうところの精度を高めることをしないとこれを元に行うっていう、事業ではないのかもしれないんですけども、果たして全部信頼していいか、みたいなのもあるかなと思いました。具体的には回答率が、医療機関44%、介護機関30%で、実際で言えば介護機関の回答率をもうちょっと上げないと精度が高くないのかなっていうところが思いました。それに伴って、この在宅療養支援窓口っていうところ利用したことがありますか、っていうのは私もありませんし、医療機関はあまりないと思います。この内容を見ても資料3③の相談者別件数では、やっぱりここも居宅介護支援事業所が多く、本人・家族なので利用したことない人が多いのは当然です。そこを、本人・家族っていうところがアンケートに入っているの、遠回しの言い方しかできないのですが、ちょっとずれてるのかなというところを感じてしまいました。

MCSに関しては、積極的にされているのはわかるのですが、先ほど言ったように、実用化率を高めるところで言うと、そこは歯科医師会はなかなか難しいところもあるのですが、患者さんのグループを増やすという方が、実際使っているということになるのかなと思うのですが、そういったところの取り組みなどを考えた方がいいのではないのでしょうか。各論的なところもあるかもしれないのですが、個人的には思いました。以上です。

○有野会長 佐藤委員、どうもありがとうございます。今おっしゃったように、医療機関と介護では温度差があると思いますが、それぞれやっぱり医療と介護を分けてやる、そのあとまた合体する、それと先に進んでしまいましたけど、その窓口のことですね、これに関しては、あの先ほど説明がありましたけど、コロナの時とはちょっと利用は圧倒的に違うと思いますし、冒頭で外来の患者さんの数とか色々出ていましたけど、外来の数が、2025年のピークでその辺ぐらいになっていくと、在宅も増えていくので相談件数も増えると思います。窓口の周知方法に関しては先ほどの研修会と同じ方法だと思いますので連絡をしていきたいと思います。

MCSについて、さきほど佐藤委員からご意見ありましたけど、何かありますか。実はMCSはズケンのコラボポータルとパスワードが共通になって、私も使うようになったのですが、その辺でアクセス数が増えているかと思うのですがいかがでしょうか

○渡邊在宅療養支援統括コーディネーター たしかに、ズケンがパスワードの統合ということで、それが必須になりましたので、その作業がかなりお手間になって少し批判的なお声もある反面、利用の促進でお声がけするようなお話も増えておりました。しかし、実際の登録数などにつながっているかの判断は

できておりませんが、影響はあるかとは感じております。

○有野会長 ありがとうございます。他にMCSについてご意見ありますでしょうか。

あの先ほど、佐藤委員からもありましたように、次回の時でも結構ですのでアンケートの件、よろしくお願いいたします。

○永田委員 多機能サービス連絡会の永田です。えっと研修に参加しない理由として研修を知らないっていうのが、1番ですが、実際に知っていたら来るかということ、当団体でもやはり出席率が悪くて、現時点その意識が高い人と低い人の差がすごい二極化している感じがしていて、来る人はほぼ同じで、来ない人は絶対来ないみたいのところはやっぱりあります。本当に参加させたいのであれば、極端な話、足立区いろんな補助金、例えば介護の初任者研修ですとか実務者研修に補助金出しますとか、あのケアマネの登録費用とか、かなり大盤振る舞いでやってくれてありがたいんですが、メリットがないと出ない。やっぱり確かに帰って家で、テレビやYouTube 見たい、とか子供の世話しないといけないとか、いろんな事情がありますので、あの、本当に参加率上げたいのであれば、補助金とかと紐付けるなり、なんなりしないと現状変わらないのでは、というのが個人的な意見です。

僕個人としては人脈が広がったり知識も得られるので、毎回じゃないですが、出ていますけど、やはりそういうのをメリットで感じない人がやっぱり現実的に多いのかなという感じはしています。以上です。

○有野会長 ありがとうございます。確かにあの私どもの医療と介護がちょっとその多職種の意味合いがちょっと違いますね。私は他の分野の方と知り合いになれるチャンスなので多職種連携の会には出ているのですが、逆に介護の方は、やっぱりそのスキルアップっ

ていうところがメインになると思います。こういったご意見も貴重だと思いますのでよろしくお願ひいたします。

他にご意見ございませんか、ではこの案件については以上にしたいと思います。続いてですね、案件（3）に移りたいと思います。

医療と介護の連携・研修センターオープン記念講演会について、事務局の方から説明をお願いいたします。

案件（3）医療と介護の連携研修センターオープン記念講演会について

○河井医療介護連携課長 案件（3）のオープン記念講演会について説明させていただきます。

（資料4説明）

二部のシンポジウムですが、医療 介護の皆様のファシリテートを行うというところで、事務局としましては、社会福祉協議会の結城部長をお願いしたいと考えております。パネリストですが、柳沢先生にもこちらの方にもご参加いただくことでご了承いただきました。

その他、医療関係者の方や介護関係者の方それぞれですね、こちらのパネリストの中にご参加をいただきまして、2名か3名かのパネリストのお願いをして進行してまいりたいと思います。

最後にですね、足立区長ですけれども当日、別件のスケジュールが入っておりまして、このシンポジウムの途中にはこちらの方に来る予定になっておりますので、最後に御挨拶をさせていただきます。はい。私からは説明以上です。パネリストについてご検討いただければと思います。よろしくお願ひいたします。○有野会長 ありがとうございます。では早速ですけど、7月26日の記念講演のファシリテーターのほうはほぼ決定ということですのでよろしいですか。結城さん、よろしいでしょう

か。

○一同 [拍手]

○結城委員 はい、頑張ります。ご協力お願ひいたします。

○有野会長 あの、シンポジウムの質疑の内容が医療介護従事者の睡眠と健康ということになりますので、医療と介護の方からそれぞれご意見をいただければと思いますけどいかがでしょうか。

○山下委員 まず、睡眠の話なんで、シフト勤務とか夜間勤務がある業種の責任者とか、そういう方がいいんじゃないかなと思うんですけど。

○鶴沢副会長 確か前回の会議のこのテーマ、私どもは在宅がメインで施設勤務者はこの中にはいないんですが、このメンバーで出ると思うと心配はございますが、私自身は（睡眠は）安定しています。介護関係者からは1名おりますが、永田さんと私のところでどなたかいらっしゃいますか。

○永田委員 夜勤やっている人ですか。自分自身は10年近く夜勤はやっていないんですけど、うちは施設ほとんど夜勤者置いてるので、一応そういう人はいっぱいいます。

○塩谷委員 訪問介護部会の塩谷です。訪問介護はヘルパーさんがご自宅に伺うというのが、大きく分けて滞在型と巡回型というのがあって、我々在宅の訪問介護事業者が伺っているのは大体滞在型なんですね。だから1時間だけ身体介護をやるとか、45分生活援助やるとか、複合とかもあります。そうするとそのスポットで入るので、例えば1日3回とかっていう一部滞在なんですが、複数回ナーコール対応だとか、そういった形での定期巡回型のもの、巡回と滞在はちょっと違うのでこの中には今巡回の事業者さんはいないので、そういったシフト勤務はなかなかないという現状ですね。

○羽田委員 訪問看護は24時間緊急対応するというので、緊急の電話を自宅に持って行って、そこから出動してというところで活動に波があり、そこにストレスを感じている訪問看護師は多いです。先生方もご存知のように、訪問診療も少数の職員でやられている診療所、クリニックなんかは先生方のご負担は多分にあるのではないかと、思います。

○有野会長 いろんな意見がありますが、やはり睡眠障害を受けている環境の事業所、医療機関に出席いただいたほうがより意味のある会になると思います。そうするとまずは訪問看護、介護施設と医師会の方で、もしやるとすると在宅診療をやっているところがそれに近いと思いますが、永田さんと羽田さん、あとそのお三方を。

○結城委員 社協の結城です。ファシリテーター大変ですが、頑張りたいと思いますが、私の方もどうしようかと最近思ったことがありまして、医療従事者だったり、福祉事業者の人であったり、人がやっぱりいないというのが結構多くて、バーンアウトで辞めてしまったりとかですね、悩みを抱えているとか、あとお客さんからクレームを言われたりとかもあって、結構鬱的な状況で辞めていく方も多くて、よく夜眠れないとか、あと管理者として職員の育成どうしようかなど悩みがあって、包括も辞めていく方も多かったり、ケアマネの職離れも多かったりするのかなと思っていて、そういった観点とかも少し入れるといいですし、施設や在宅の悩みも少し減るのではないかと。そういった意味だと医師会から精神科の先生も入れていただくと話も盛り上がり上がっていくのではないかとちょっと思ったところです。参考までにすみません。よろしく願いいたします。

○有野会長 橋爪委員のご指名ということで、2～3名を予定しているということですので、

今ので3～4名になってしまうのですが、一旦候補の方にちょっと前向きに検討していただいて、当日のご予定とかもあると思いますけれども、4名が候補に挙がったということですのでよろしいでしょうか。

○一同 [拍手]

○橋爪委員 僕は仮で候補で。

○有野会長 結城さんのご意見だとドクターを1名入れたいということですが、橋爪委員よろしいでしょうか。

○橋爪委員 これは、物理的に仕事で睡眠がとりづらい、あるいは睡眠管理が難しいという人、プラスこの医療従事者の中でそれこそこういったメンタルの問題を抱えているということをお話すればよいですね。わかりました。

○有野会長 ではよろしく願いいたします。この案件についてはこれで、次の案件の4に行きたいと思います。事務局お願いいたします。

案件（４）在宅療養普及啓発紙の発行について

○尾形医療介護連携推進係員 案件（４）在宅療養普及啓発紙の発行について私からご説明させていただきます。

（資料5説明）

12月の発行を予定してしまっていて、今回のこの会議でプロジェクトチームを選出していきたくて思っております。

8月頃までにはある程度紙面構成や配布数を決定しまして、12月に配布できたらいいなと思っております。昨年度のセンター運営準備委員会の方でこちらのお話しさせていただいた時に、ご意見としまして、初回なので専門職の紹介がよいのでは、というご意見だったり、区民の方が在宅療養のことを知らないで、在宅療養の流れとか分かりやすいよ

うにしていけたらというお話もいただきましたので、詳しい内容は、この後プロジェクトチームで決めさせていただきまして、そちらで話していきたいと思っております。また細かい内容も決めさせていただければと思いますので、よろしく願いいたします。

あとですね、ちょっと画面に映させていただけますと、こちらの医療・介護連携課で配布しておりますオレンジリーフレットがありまして、電話番号等々が変わりましたので、こちらの内容もちょっとプロジェクトチームで、もう少しこうしたいなあってあれば、ご意見いただければと思っております。

また、同じく在宅療用支援窓口のチラシが今こちらをお配りしているんですけども、窓口の表示がちょっと小さかったりするので、こちらも分かりやすく、見やすく直させていただきたいなと思っておりますので、裏面も色々あるのでご意見いただきたいなと思っております。プロジェクトチームの選出と何かご意見あればいただければと思っておりますので、よろしく願いいたします。

○有野会長 はい、ありがとうございます。先ほどの関係ですけどこちらで何かあの立候補はなかなか難しく、尾形さんにご指名いただいた方がいいのではないかと思いますので、どういう方々を考えていらっしゃいますか。

○尾形医療介護連携推進係係員 あの、前回介護の方で、色々ご意見いただいた内山さん羽田さんいかがでしょうか。

○一同 よろしく願いいたします。

○河井医療介護連携推進係長 医師会からも是非ご参加いただきたいと思っております、井上先生にもいろいろ他にもご参加いただいているのでプロジェクトチームにもお願いできればと思っております。

○有野会長 このお三方ですけれども、いかがでしょうか。

○尾形医療介護連携推進係係員 その他いらっしゃれば是非。

○鶴沢副会長 やることはその企画のアイデアだしみたいなのとどこですかね、実務的なところは事務局でしょうか。

○尾形医療介護連携推進係係員 はい。紙面構成も全然詳しく決まっていけないので、その段階からこういうのを入れ込みたいっていうのがありましたら、是非いただきたいなと思っております。

○有野会長 このチームのメンバーと先ほどのリーフレットは同じ方。

○尾形医療介護連携推進係係員 そうですね。こちらと一緒にご意見いただければと思っております。

○山下委員 これはあのPOS、柔整とかも是非アピールする良いきっかけだから、大館さんいいんじゃないでしょうか。

○有野会長 柔道整復師会どうでしょうか。

○和田委員 参加させていただきます。

○尾形医療介護連携推進係係員 ありがとうございます。

○有野会長 メンバーが多くなればそれだけ多くのご意見をいただけますのでいい形になるんじゃないでしょうか

○鶴沢副会長 あの、それは例えばこの委員の中から選出ということだけを考えていらっしゃいますか。

○尾形医療介護連携推進係係員 他の方もいらっしゃれば是非お願いしたいと思っております。

○鶴沢副会長 そうですか、うちの協議会の理事ももしよろしければ少し思いつくこともあるんですが、それはよろしいでしょうか。

○尾形医療介護連携推進係係員 はい是非よろしく願いいたします。

○有野会長 他にありませんか。これでプロジェクトチームができますので是非いい形にさせていただければと、今年の12月が最初で

すね。リーフレットに関しては期限がありますか。すぐにでも改定したいですか。

○尾形医療介護連携推進係係員 そうですね、リーフレットとチラシに関してはすぐにでも決められたらいいなと思っています。

○有野会長 指名を受けました委員に関してはですね、尾形さんの方からご連絡いただくという形になります。よろしくお願ひいたします。はい、では次の案件にいきたいと思います。5番目ですね、在宅療養区民啓発講座についてご説明お願ひいたします。

案件（5）在宅療養区民啓発講座について

○鈴木在宅療養支援コーディネーター 案件（5）在宅療養区民啓発講座について鈴木から説明させていただきます。

（資料6説明）

今年度どんなテーマですか皆さんにご意見いただきたいと思ひます。

○有野会長 はい、ありがとうございます。では今の時点でまだテーマは決まっていなという理解でよろしいですか。

○鈴木在宅療養支援コーディネーター はい。

○有野会長 今年の1月に行われた講演に関して羽田さんご意見お願ひできますか。

○羽田委員 あのこの区民講座に関しては、何回か、お話をさせてもらっていて、受講される方とすごく近い位置で、区民向け講座も含め、区の病院の中でも患者さん向けに在宅療養ってこういう感じに進めるのよとか、あるケースを用いて、具体的にお話を入院から退院まで、退院してからお看取りまでという形でスライドを作ってやっていて、本当に私はずっとこういう仕事をしているので、これだけ区も盛り上げてくださっているので、結構認知度は高いのではないかっていう期待もあったんですけど、やはり聴講された方たちは

初めてのような形で、目から鱗の話がちょっとできたなというところでは、同じような内容でもかなり興味を持って参加される方はたくさんいるのかもしれないな、という風に思っています。あとは、個人的に挙手されて、ご自身の具体的な話をされてしまうっていうのがやっぱりあって、そこはある程度開催前から想定はしていたのですが、やはりみんなお悩みを持っているからこそ来てくださっているところあるので、表題は変えてもテーマ感としたらかなり注目度は高いんじゃないかと思っています。

○有野会長 今のご意見で、いかがでしょうか。はい、どうぞ。

○山下委員 私もこの日参加させてもらって、非常に基本的なことでもいいんだなって、我々つい在宅医療に詳しい人たちの集まりとかあるいは、一般の患者さん、利用者さんもある程度少し関わっている人たちを相手にすることが多いけども、在宅医療って何？とか、往診ってどうやってきてもらうのか、とかそういう人たちがたくさん来ていたので、本当に基本的なところをやるということでもいいんじゃないかなという風に思ひます。

あと予算の問題もありますが、綾瀬地区でも今年度無理でも来年度は東と西で実施すべきだと考えました。すぐ集まると思ひます。

○鶴沢副会長 私、やる方の負担をちょっと無視して提案しますが、色々な場所ですんなり時間帯でできれば、やっぱりあのたくさん区民はいらっしゃるのではないかと思ひます。テーマはそのまま、回数を増やす方がよいのではないかと感じました。

○鈴木在宅療養支援コーディネーター ありがとうございます。

○有野会長 ありがとうございます。参加する方々の意見もそうですが、つい我々はいろんなことを考えて、じゃあ次はこのテーマ、

今回はこのテーマって考えてしまうのですが、ここに来る方は50名ですよ。リピーターの方ももちろんいらっしゃるかもしれませんが、やはり常に新しい50名ということで考え、同じテーマでディスカッションとかですね、相談に関してはそれぞれみんな個人的に違いますから、それはそれで意味のある会になると思いますので、それを、考えていただいて企画を立てたいと思います。よろしくをお願いします。

○鈴木在宅療養支援コーディネーター 今回はすこやかプラザでやるので、定員は300名まで入りますので、周知を頑張りたいと思います。

じゃあ今頂いた回数とそこをこちらで事務局の方で、同じテーマで基本的なことで、50代、60代の人たちも興味を持てるように考えていきたいと思います。

○有野会長 こちらに関しての案件については、質疑は以上でよろしいでしょうか。

○徳井医療介護連携課長 2回年度途中でというお話ですが、特に1回でと決まってないので、年度途中ですけれども2回もありだと思います。東西で。

○有野会長 すこやかプラザ地区と綾瀬地区ということですね。

では次に医療と連携センターホームページについて事務局から説明をお願いします。

医療と介護の連携ホームページについて

○馬場在宅療養支援コーディネーター はい。資料7をご覧ください。

(資料7①②説明)

○有野会長 はい。ありがとうございます。ホームページに関して何か他にありますか。馬場さん、これは何か今日ご意見いただきたいということですか。それともこういうのがあるというお知らせでよろしいでしょうか。

○馬場在宅療養支援コーディネーター 昨年度までセンター準備委員会で皆様にご意見いただきましたので、このようなものができたというご報告です。

○徳井医療介護連携課長 補足ですけれども、今日の在宅療養推進協議会の様子もこのホームページに掲載し啓発を図っていきたく思っております。

○鶴沢副会長 足立区のサイトから飛ぶってことですね。

○馬場在宅療養支援コーディネーター はい、そうです

○有野会長 はい、ありがとうございます。あのすこやかプラザの外観ですが、なんか実際の色合いよりもくすんでいるような、なんかどこかの倉庫かなみたいな、印象を受けます。

○一同 今写真撮ったらいいのかもしれないですね。木が少ないんじゃないか、枝がね、葉っぱが生い茂って、今ちょうど新緑で、お天気のいい日に差し替えたらフレッシュ感がありますね。

○馬場衛生部長 ちょっと緑の新緑のきれいな写真で是非もう一度撮影をお願いします。

○徳井医療介護連携課長 はい、一眼レフカメラで撮影し差し替えます。

○有野会長 木くらいはAIで作って何とかできそうだけど。次の、大研修室の予約状況について事務局の方からよろしく願いいたします。

すこやかプラザ研修室の予約状況について

○尾形医療介護連携推進係員 研修室の予約状況に関して、画面を見ながら説明させていただきます。

5月の予約状況が画面のこちらになりまして、平日の午前、午後はかなり埋まっている状況で、皆様に使っていただけているなと思

っております。ただ土日とあと夜間の時間帯はやはりまだ利用が少ないので何かあれば活用していただきたいなと思っております。

○有野会長 色の説明してもらっていいですか。

○尾形医療介護連携推進係係員 こちらの黒色が大研修室の全体300人の部屋で使っているとところになります。赤がNこちらの青が今いるEで緑がWお隣の部屋になります。こちらがちょっと管理画面になりまして、皆さんの団体から予約するのは少し違うこちらの方ですが、こういう形で空き状況が○×で見える形になっております。わかりやすく左画面の方でどれくらい入っているかお見せしますが、稼働率はこのような形になっているという報告です。

○有野会長 はい、ありがとうございます。私も先週循環器フォーラムとかいろいろ使わせていただきまして、出席された方々いい反響でして、どこの機関が一番多く使っていますか。

○尾形医療介護連携推進係係員 そうですね、こちらの今表示されているのが先行予約で医療介護連携課でまとめて予約入れた関係で表示が全て医療介護連携課になっているんですけども、それぞれ配布されたアカウントで申請すると、例えばこちらの21日、衛生管理課っていうふうに表示されるようになっております。今ですとやはり医療介護連携課と内部の成年後見センターあだち、基幹包括などが多いかなと思っております。

○有野会長 ありがとうございます。

○河井医療介護連携推進係長 団体の皆様では訪問看護部会が定期的に毎月やっただいて、先日日中ですね、こちらを使ってWeb配信も同時にやっていただきましたので、そういった形でもどんどん使っていただければと思います。

○有野会長 当初の予想と比べてどうですか。

○尾形医療介護連携推進係係員 私個人としては思ったより会議がいっぱい入っているなと思っておりますが、もう少し土日の稼働率が上がった嬉しなと思っております。

○白井委員 当部会でもですね、すこやかプラザ あだちができたということで、研修担当のものにですね、企画をちょっと今立案させていただいております。で、当部会で今までは夜間帯6時8時でギャラクシティなどでさせていただいた関係もあって、役員で検討した結果、やはり実態調査アンケートにも書いてある通り、時間の都合が合わないというご意見があったこともあり、今年度は夕方の午後の時間帯にすこやかプラザでやってみようか、という議論をしていたんです。それで事務局に予約状況を確認したところ、午後がもう全て埋まっていると報告が上がってきました。つまり、夜間帯だったら確かに今この状況だったら予約が取れるのかなと思うのですが、ただ、居宅介護支援専門員っていうのは日中訪問、どの業者も訪問が多いとは思っているので、やはりすこやかプラザだと交通の関係で、集まりづらいんじゃないかというご意見も出ており、なるべく活用させていただきたいという観点から言うと、予約が早いもの勝ちなのかなということはこの研修予約を見て思いました、以上です。

○有野会長 はい。ありがとうございます。

○永田委員 少し関連するんですけど、アクセスの方法がちょっとよくわからなくて、インターネットで江北駅から8分と記載があり、徒歩8分だと思うのですが、バスとかその他のアクセス、あとは駐車場の使用可否などよく分からず躊躇している部分もあるかと。最寄りのバス停やどの駅からバスが出ていますなどの案内はあるのでしょうか。

○網野衛生管理課長 江北保健センターがホ

ームページを作っているのですが、そちらには載っているのですが、もし可能であればこちらの予約の方にも、転用していただいてご案内してもらえればなと思います。バスもありますし、日暮里・舎人ライナー、10分ちょっと歩きますけれども、あと駐車場も88台、使用していただければ無料券を発券するというご案内ができるのかなと思います。

○永田委員 駅は竹ノ塚とか西新井駅とかどういった駅から繋がっているのでしょうか。

○網野衛生管理課長 東武線は遠いのでそこからだとバスですね。

○馬場衛生部長 本数は少ないのですが、例えば北千住から女子医大行きに乗っていただきますとこの隣にある江北小学校前というバス停がありまして、歩くと考えるとそれが一番歩く距離は少ないです。女子医大前は北千住だけではなくて、実は日暮里駅からも出ていますので、そこからいらっしゃる方でも、時間はちょっと見ていただかないといけません。江北小学校前というのが一番近いです。あとは環七沿いの駅で降りて歩いて、上沼田団地バス停が近いですが、椿二丁目のバス停はすこし遠いのでおすすめできません。あと下のサイネージでバス停と時間を出していますので、帰りのときにでもサイネージ見ていただいてどれが時間的に早くて、どれくらい歩くかは見ていただきたいと思うんですけれども、江北の駅からも結構歩きますんでね、時間があれば、バスがおすすめです。あと車で来られる方は今お話あったように、この施設利用者は無料となっておりますので、ご心配なく来ていただいて停めていただければと思います。

○鶴沢副会長 ネットの予約は何か月前からできるんですか。

○河井係長 6か月前です。あとは各団体の皆様はそれより前から予定が決まっていれば、

事務局の方にご連絡いただければ、こちらの方で先におさえる形にしておきます。

○永田委員 あと研修やった後に打ち上げとか、何か食べて、近くに店とかそれを目当てに来る人もいるのではないのでしょうか。

○徳井医療介護連携課長 江北地域の課題として、近く昼は幸楽苑、松屋、バスで西新井まで出ていただいてという形になるかなと思います。

○山下委員 現状たくさん入っているように見えるけれども、この会のような行政関連の会が多いんですね。だからやっぱり各団体が使ってもらって、いろんな団体メンバーがここに入入りすることによって、ここが医療と介護の連携の中心になれるということなので、こういった会をやるのは良いんですけれども、やっぱり各団体のあの利用率をいかに高めるかということで、さっき言われたように、時間もそうですけれども、利便性をいかに高めるか、交通の便もそうですよね、そういうのを常に考えていかなきゃいけないのではないかと思います。最初が肝心なので使いやすいつか、いいイメージが出るような工夫するべきじゃないかと思います。

○馬場衛生部長 ちょっと追加で、会議室ではないのですが、今回一階のロビーのアトリウムのところにはちょっとした打ち合わせができるようにテーブルとか椅子も置いてあって、自販機もありますので、これはあの土日もある状況になっています。なので会議の始めの前にちょっと打ち合わせをしたいとか、終わった後に一応10時で出ていただくんですけど、終わった後打ち合わせをしたいという時には、机なども簡単にばらしたりくっつけたりできるように稼働式になってますので、そこを使っていたきたいと思います。合わせて少し宣伝ですけれども、簡単な健康チェックの機器も置いてあります。手のひらをか

ぎすベジチェックとか脳年齢とか骨の健康度のチェックとかもあるのでよかったら来るたびに待ち時間とかあれば先にそういうところも使っていただければと思います。

○塩谷委員 このスケジューリングの話なんですけど、予約を例えば年度でこの団体には何枠とかそういう風にするのとわりと公平というか、それぞれの団体が結構利用できるんじゃないのかなと。初年度なので、その方が多分いいんじゃないですかね。期日決めていつまでに必ず出してくださいねって、出なかった団体の部分の枠は開いていますよという案内をするなど。

○河井医療介護連携課長 来年度に向けても先に調査のほうかけさせていただいて、各団体からどの程度、どういう月に使うかというのを事前にお知らせいただいた上でやっていきたいと思っているんですけども、研修とかはなかなか前もっての日程が分からないという話が結構ありまして、本当に2ヶ月、3カ月前じゃないとなかなか決まらない、そういった場合ちょっと今回のように埋まってしまっているということもあり得るところなので、できれば日にちと時間まで決めていただければ、優先的にもちろん皆様の団体様に使っていただくための研修室ですので、こちらは早く予約するような形にはしたいと思っています。

○白井委員 白井です。居宅介護支援部会は数大体172ぐらいの居宅さんが今会員さんとしていらっしゃいます。やはりこの江北地区は西部地区というところなので、西部に近い方に関してはそんなに大きな支障は出ないかなという意見の反面、アクセスの話ではないのですが、やはり東部、北部、今まで足立区ギャラクシティで行わせていただいたのですが、やはり夜間においてもすぐ近くに駅があるとかそういう条件がありましたので、比

較的参加もしやすかったのもありますので、先ほど塩谷さんがおっしゃったような工夫があれば、より活用ができるんじゃないかなと思っております。以上でございます。

○有野会長 ありがとうございます。ギャラクシティは足立区の施設ですよ。確か使用料を取られますよね。こちらはもちろん無料ですけれども、個人的にはギャラクシティの裏なのでありがたいですが、とにかく最初が大事だと思いますので、多くの施設に使っていただいて、なおかつ予約も取りやすいような状況を作っていただきたいと思っていますのでよろしく願いいたします。こちらの案件に関しては以上にしたいと思っています。

それでは、多職種連携研修会について、事務局よろしく願います。

多職種連携研修会（ブロック別）開催予定について

○高在宅療養支援コーディネーター 令和7年度多職種連携研修会について説明をさせていただきます。

（資料8①②説明）

○有野会長 ありがとうございます。何かご質問などありますでしょうか。

○花田副会長 歯科医師会の花田でございます。資料の8②ですね、令和7年度のブロック世話人一覧のところですね、歯科医師会がありますけども、その千住ブロックの市川が抜けて横田秀一が千住ブロックの世話人に変更になります。訂正願います。中部ブロックが空いてしまうのですが、歯科医師会の人事が決まるのは6月からなので、今のところまだ中部に代わりに誰が入るか決まっておりませんが、決まり次第、皆様にお知らせいたします。よろしく願います。

○有野会長 ありがとうございます。他になければ、こちらの点については終了したいと

思います。次に入退院支援相談員交流会について事務局よりお願いいたします。

入退院支援相談員交流会の開催について

○西村在宅療養支援コーディネーター 入退院支援相談員交流会の開催について説明させていただきます。

(資料9説明)

令和6年度の参加状況を踏まえてこの活動を広げていくために、令和6年度後半から在宅療養支援病院や回復期リハ病院等へ自分たちの活動を紹介しながら訪問いたしました。今後も年間を通じて活気ある交流会となるよう企画し連携を推進していきたいと思っております。以上です。

○有野会長 はい。ありがとうございます。対象者には、どういう形で案内をしているのでしょうか。

○西村在宅療養支援コーディネーター 最初は、在宅に近いところということで、地域包括ケア病棟を持っている病院や精神科病床を持っている病院、24病院に声がけて始めました。しかしながら、参加者が20～30人弱と少なかったため、この輪を広げようということで、今回5月の開催に関しましては区内の60病院に開催案内を出したところ、30病院51名の病院が出席していただいたという形になっております。

○有野会長 はい、ありがとうございます。こちらの案件は以上となりますが、ほかにご意見、質問などございますでしょうか。ないようですので、次に令和7年度第2回在宅療養推進協議会の開催について事務局の方からお願いいたします。

○安達医療介護連携推進係主査 令和7年度第2回目の在宅療養推進協議会の開催についてですが、開催場所は本日と同じくすこやかプラザ あだちです。開催の候補日時ですが、

令和7年の8月28日(木)か29日(金)の2日間を候補日とさせていただきます。いずれも時間は19時開始とさせていただきますが、皆さんこの2日間ご都合いかがでしょうか。

○有野会長 皆さんいかがでしょうか。

○安達医療介護連携推進係主査 では、早方で8月28日の木曜日とさせていただきますと思います。

○有野会長 では、8月28日に第2回目ということにして、ご出席できない方が2名いらっしゃるようですが、後日報告させていただく形とさせていただきます。よろしくお願いたします。

では案件に関しては以上となります。円滑な協議進行にご協力いただきましてありがとうございました。他に何か協議したい内容などございますでしょうか、よろしいでしょうか。ではこれ以降の進行は医療介護連携課に戻したいと思います。よろしくお願いたします。

○徳井医療介護連携課長 有野会長ありがとうございました。委員の皆様におかれまして長時間に渡り様々なご意見、ご質問いただきまして誠にありがとうございました。

最後に事務連絡一点させていただきます。お車でお越しの方は1階受付で駐車券をお受け取りください。また、区から謝礼をお支払いする委員の方で書類がまだお手元にある方は、帰りの際に事務局へご提出いただきたく存じます。では、これにて令和7年度第1回足立区在宅療養推進協議会を終了させていただきます。本日はありがとうございました。